



# せいひ会だより

2008年(平成20年)  
11月1日発行  
<第103号>  
社会福祉法人せいひ会  
http://www.seihikai.jp/



『秋』は何をするにも良い季節

空も 空気も 草木も みんな 何かに牽かれているように 澄み切って

見るものすべてが語ってくるような...

あなたは『秋』に何を感じていますか

## 10月のできごと

- 5日 風和の里運動会
- 11日 誕生会(元亀・通所)  
お月見(風和・GH)
- 13日 陶芸教室(通所)
- 中旬 ~ バスハイク(風和の里)
- 毎週水木 バスハイク(通所・丘の家)
- 24・25日 せいひ会勤続10・20年職員旅行

## 11月の行事

- 8日 誕生会(元亀・通所)
- 10日 陶芸教室(通所)
- 16日 バイクン(風和の里)
- 16・23日 紅葉狩り(GH) 八ヶ岳公園までドライブ
- 20日 ~ 文化祭(通所・丘の家) せひ、見に来てくださいね!!
- 20・21日 せいひ会忘年会第1班(職員)
- 27・28日 せいひ会忘年会第2班(職員)
- 13・27日 書道教室(風和の里)
- 12・26日 書道教室(元亀の里)
- ふくろうホールがレストランに

## ☆お誕生日おめでとうございます☆



浦添 二男様 富崎 夕工様 濱崎 富子様 廣 久子様 今道 ヒデ子様

杉谷 美千代様 戸高 ミチヨ様 荒瀬 サタ様 中野 ニワ様

大久保 アヤ様 大島 キミエ様 木本 サタ様 八十島 ソエ様

今回は元亀の里・八十島 ソエ 様にお話を伺いました。

「ボサーっとしとったっちゃつまるもんね」「とぼけとらんよ」「なんっちゃ知っとさ」が口癖で、時に厳しく時にお茶目な一面を見せる八十島さん。そんな八十島さんは、昭和8年、西彼町の宮浦に7人兄妹の6番目として生まれる。両親は芋・麦・米や野菜を栽培し農業を営んでおられた。食べ物に不自由し「ばっち」(芋を切って蒸して干したものをよく食べたそう)。「小さか頃から家の手伝いばっかいで、遊ぶ暇もなかった。働かんば生活されんやうとたい」と、遊んだ楽しい思い出が少ないと話された。小学生の頃は、空襲警報がなる度に防空壕に逃げ隠れ、勉強も落ちて出来なかったとのこと。

学校を卒業後、いとこが働いていた旅館で手伝い、ご飯炊き・掃除・洗濯・風呂沸かしなどとても忙しかった。その後土木作業員として働き、そこで10歳年上のご主人と知り合い20歳頃に結婚。「優しく、よか人よ」と照れながら話された。

結婚後4人の子供に恵まれる。土木作業や親戚から畑を借りて芋・きゅうり・らっきょうなどの野菜を栽培しながら生活した。「とにかく、小さか頃から苦勞ばっかいたい。楽しみといえば、長崎まで映画は観に行くことやったかね」と、人生の大半は苦勞ばかりだったそう。

「今の若い人は苦勞の足らん。楽ばっかしよったら、大変か時に太刀打ちできんとばい」「苦勞した人しか人の気持ちは分かん」と厳しい一言。「職員も色々おる。心のよか人、そうじゃなか人。見とったら分かるばい」と話され、話を聞きながら気の引き締まる思いだった。また、「今の世の中は便利かばってん、お金の無かったら何もされん。昔が易しうはあった」と現代の大変さを語られた。

現在、元亀の里に入所中。今の楽しみは「何ってねー、リハビリと体操かね」「食べるのが楽しみばってん、太るけんお菓子は食べるなって言われるし、厳しかとばい」と食事制限を悲観されていた。インタビューの最後に、「親は大切にせんばよ」「身体は大事にせんば。健康が一番やけんね」と言葉を頂いた。

「早う歩くごとなって家に帰らんば」と、今日もリハビリに励まれる八十島さんでした。(神)

これからも健康に気を付けてください。お誕生日おめでとうございます。



# Vitality Space

バイタリティー・スペース

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいは会を利用される皆さんの活動にはこのバイタリティーの力にあふれています。その活動を紹介するコーナーです。

犬  
ニガがかつ

風和古賀勝美

菊花  
高松恵美子

通所高松恵美子

錦杖  
山川由喜男

元龜山川由喜男

有望  
谷川エツ

風和谷川エツ

白寿  
北村リツ

風和北村リツ

読書  
岡明子

爽月岡 明子

自分の心に  
灯をともしば  
その時から  
世の中は  
明るく  
輝いて見える

風和中澤初子



爽月の作品

うたの時間

萩の花  
庭にほろほろ  
こぼれゆく  
月は冷たく  
むせび泣くかも

みかん狩り  
子供のころは  
重かった

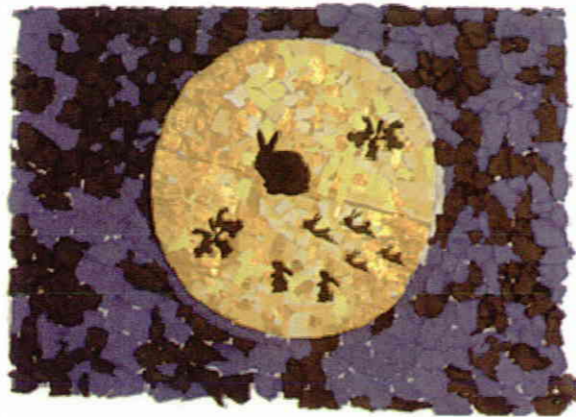
平田イエ

酒井ミネ

陽だまりで  
足のマッサージ  
うとうと  
居眠り

ななまがり  
超えて紅葉の  
雲仙路

本本誠一



風和の里作品



## 愛の手作り劇場

ニラです、ニラ。こんなにたくさんできました。綺麗に揃えて出荷します!? 売り物になるくらい綺麗でしたよ。売らずにベロッといただきましたが♪

## \*秋\*桜\*



四本堂公園のコスモスです。今年は晴れの日が続き、秋空と共に観賞してまいりました。公園散策を楽しみ、ゆっくりとした時間が過ごせた様です。



＜勤続10年&20年職員旅行＞  
ミステリーツアーと称して、どこに行っただかと思いきや、温泉ゆったへり湯布院ツアーだったみたい。ベテラン職員さん。これからは、優しく新人職員の指導&心のこもったケアをお願いします。

## 新グループホーム翠風



お待たせしました。グループホーム翠風がリニューアルオープン。平屋建てで天井も高く、明るい間取りになっています。畳部屋4つ、洋室5つ。居室の窓は全て出窓になっています。今年冬には中庭も充実してさらに緑豊かな翠風ができあがることでしょう。現在、入居者募集中。ご見学のお申し込みは、元龜の里管理部まで。



## ●お月見●

夕方外に出てみると、雲一つなく、綺麗な月を見ることができました。午後は、皆で団子を作り、ススキを飾って、雰囲気good。月が出る前にお団子はなくなりましたけどね。月見れば おやつのお団子を思い出すも一つほしい 秋にはあらねど???

## ♪ミニコンサート♪



風和の里の喫茶ルームでミニコンサートが開かれました。西海市の音楽が大好きな方々がこの日の為に集まってアンサンブルグループを作って来苑。利用者の皆さんも一緒に歌って楽しみました。

## ケアマネの独り言 《消えゆく日本の美》

居宅介護支援事業所の介護支援専門員である私は、利用者のご自宅を訪問した際に感慨深い思いに浸ることがあります。それは、多くの利用者が私の車が見えなくなるまで玄関先を動かさずに見送ってくださったり、さらに女性の利用者は深々と丁寧にお辞儀をして見送ってくださっている姿があるからです。バックミラー越しにみるその光景に私は涙がこぼれそうになることもしばしばあります。日本人の奥ゆかしさ、思いやりの姿を私はそこに感じました。現代人は昔ながらの日本のいい所を忘れてはいないのでしょうか? 今の若者の中には私の言っている意味さえない人もいるかもしれません。内面の美しさ、決して派手ではないけれど、それが日本の文化を支えているのではないかと感じます。近代化により西洋文化が栄え「今の発展した日本」があるのだと思いますが、日本の良き文化習慣が忘れられることのないよう、内面からの美しさを次世代に残してゆかなければならないと強く思っています。(敏)

**編集後記** 『真人の息は踵を以てし、衆人の息は喉を以てす(莊子)』今の時期、月も美しく、空気も澄んで深呼吸すると心もすっ〜とするような気がします。真人の息は、踵から吸って息を全身に行きわたらせたあとに、ふたたび踵からゆっくりと吐き出していき、深く静かな深呼吸であるそうです。こうした自然の深い息を通ずる人間は年を経るごとに失っていき、徐々に浅い息になり、浮き足立ってくる。皆さん、踵を通して息をするイメージで呼吸をし、ゆったりとした心で月を眺めてみませんか。真人に少し近づくことができるかも・・・。(佳)